第2号様式　その1

地球温暖化対策計画書（案 ~~変更~~）

1　地球温暖化対策事業者等の概要

（1）　地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名（法人にあっては名称及び代表者又は管理者の氏名）	株式会社　ニッピ　代表取締役社長　伊藤　隆男
地球温暖化対策事業者等の住所（法人にあっては主たる事務所の所在地）	東京都足立区千住緑町1-1-1

（2）　事業所の概要

事業所の名称			株式会社　ニッピ　　東京工場
事業所の所在地			東京都足立区千住緑町1-1-1
業種等	事業の業　種	分類番号	F21　F:製造業　なめし革・同製品・毛皮製造業
		産業分類名	なめし革・同製品・毛皮製造業
	事業所の種類	主たる用途	※部門分類　◉ 産業　○ 業務
			◉ 工場　○ 熱供給施設　○ 上水道・下水道施設　○ 廃棄物処理施設
			○ 事務所　○ 商業施設　○ 宿泊施設　○ 教育施設
			○ 医療施設　○ 文化施設
			○ その他　（　　）
		建物の使用形態	□ テナントビル等に該当
事業の概要			なめし革・同製品・毛皮製造業
主なテナント事業者等の概要（テナントビル等の場合に記載）			(1) テナント事業者等の名称
			(2) テナント事業者等の名称
			(3) テナント事業者等の名称
敷地面積			94,191 ㎡
建物の延べ面積			53,115 ㎡

（3）　担当部署

計画の担当部署	名称		施設課
	連絡先	電話番号	03-3888-5110
		ファクシミリ番号	03-3888-3785
		電子メールアドレス	
公表の担当部署	名称		総務部
	連絡先	電話番号	03-3888-6651
		ファクシミリ番号	03-3888-5175
		電子メールアドレス	

その2

（4） 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表期間	平成18年12月26日 ～ 平成23年3月31日	
公表方法	☑ ホームページで公表	アドレス: http://www.nippi-inc.co.jp/houkoku/
	☐ 窓口で閲覧	閲覧場所:
		所在地:
		閲覧可能時間:
	☐ 冊子	冊子名:
		入手方法:
	☐ その他	

2 計画期間

18	年度	～	22 年度

3 温室効果ガスの総基準排出量（工場・事業場の設備等に係るものと自動車等に係るものとの合計）

単位:t（二酸化炭素換算）

温室効果ガスの種類	CO_2	CH_4	N_2O	HFC	PFC	SF_6	合計
総基準排出量	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

4 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針等

当社では日頃から環境配慮に積極的な取り組みを進めている。その中で次の二つの点を重視して地球温暖化対策に取り組む。

１，事業所での省エネの取り組み
　施設管理者の対策を率先して行い、事業所各部門の担当者と協議し、計画期間内に全ての対策を実施することを基本
　とする。

２，普及啓発
　社員の環境に対する意識を向上させるなどの意識改革を積極的に推し進める。同時に地域の環境改善活動へも積極的
　に参加する。

（計画期間の最終年度における温室効果ガスの総排出量の見込み） 単位:t（二酸化炭素換算）

温室効果ガスの総排出量の見込み	#REF!

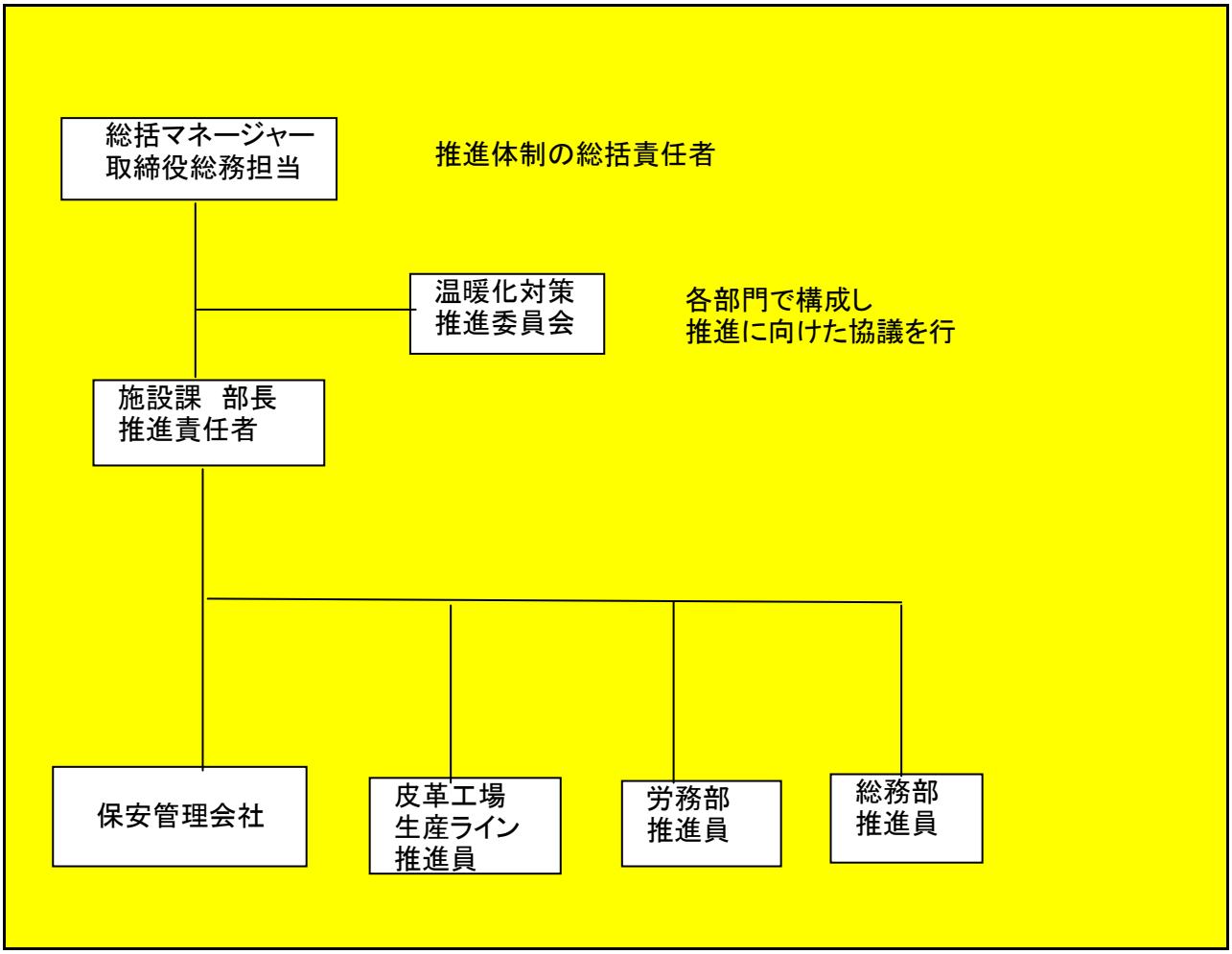
（見込みの考え方等）

施設管理者の対策を率先して行い、事業所各部門の担当者と協議を重ねながら計画期間内にすべての対策を実施する。

その3

5　地球温暖化の対策の推進体制

（1）　推進体制



（2）　事業所における地球温暖化の対策の普及啓発・教育活動

●半期ごとに、エネルギーレポート作成し省エネ対策の進捗状況、温暖化対策推進会議における
検討状況について周知を図る。
また外部の先進的な省エネ事例を紹介するなど省エネ手法の普及拡大を図る。

●各事業部に省エネポスターを配布し又受付にも提示し社員及び取引事業者に対する啓発活動を
行う。

その4

6　工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況

（1）　基準排出量

ア　基準排出量の算定方法

◉ 過去3か年度(基準年度)の平均	
○ 特定年度の値	（　　）年度
○ その他	算定方法:（　　）

イ　基準排出量　　単位:t（二酸化炭素換算）

温室効果ガスの種類	CO_2	CH_4	N_2O	HFC	PFC	SF_6	合計
基準排出量	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

（2）　建物の延べ面積当たりの基準排出量の状況(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たり基準排出量	#REF!　kg/㎡・年

7　工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標

（1）　目標年度

計画期間の最終年度	22 年度

（2）　計画削減量（率）、目標削減量（率）等

分類	削減量	削減率
計画削減量及び計画削減率 (基本対策及び目標対策の実施によるもの)	40 t	#REF!　%
うち目標削減量及び目標削減率 （目標対策の実施によるもの）	18 t	#REF!　%
基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減量及び削減率	t	#REF!　%

その5

8　工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

（1）　基本対策及び目標対策

対策No	対策の区分 区分番号	対策の区分 区分名称	対策の名称（建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。）	対策レベル	削減効果の見込み 削減量（t）	削減効果の見込み 削減率（%）	根拠資料	対策レベルの修正 ※	備考
1	☑ 330299	空気調和設備、換気設備に係るその他の削減対	空気調和機の更新	目標対策	15	#REF!	添付書類 D１	☐	
2	☑ 370799	電動力応用設備、電気加熱設備等に係るその	電気加熱設備の更新（架橋炉）	目標対策	4	#REF!	添付書類 D２	☐	
3	☑ 380701	照明設備の運用管理	適宜消灯を行う事により過剰不要な照明をなくす	基本対策（運用	9	#REF!	添付書類 D３	☐	
4	☑ 360799	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等に係	非稼動時のエアータンク元弁の閉止による圧縮空気量の節約	基本対策（運用	0	#REF!	添付書類 D４	☐	
5	☑ 320351	蒸気配管系の断熱強化	蒸気バルブの断熱強化	基本対策	9	#REF!	添付書類 D５	☐	
6	☑ 380751	電子回路式安定器及び高周波点灯方式の	蛍光灯Ｈｆ化	基本対策	3	#REF!	添付書類 D６	☐	
7	☐						添付書類	☐	
8	☐						添付書類	☐	
9	☐						添付書類	☐	
10	☐						添付書類	☐	
11	☐						添付書類	☐	
12	☐						添付書類	☐	
13	☐						添付書類	☐	
14	☐						添付書類	☐	
15	☐						添付書類	☐	
計画削減量（率）					40	#REF!			
うち目標削減量（率）					18	#REF!			

※指針に掲げる「基本対策」を「目標対策」とした場合にチェックする。

その6

(2) 基準年度中に完了した目標対策に相当する対策

対策No	対策の区分		対策の名称（建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。）	削減効果の実績			備考
	区分番号	区分名称		削減量（t）	削減率（%）	根拠資料	
1	☐					添付書類	
2	☐					添付書類	
3	☐					添付書類	
4	☐					添付書類	
5	☐					添付書類	
6	☐					添付書類	
7	☐					添付書類	
8	☐					添付書類	
9	☐					添付書類	
10	☐					添付書類	
11	☐					添付書類	
12	☐					添付書類	
13	☐					添付書類	
14	☐					添付書類	
15	☐					添付書類	
合計					#REF!		

(3) 再生可能エネルギーの導入に係る措置

ア 再生可能エネルギーの導入に係る考え方

イ 再生可能エネルギーの導入計画及び前年度末における導入実績
（事業所内で設備導入を行うものに限る。）

再生可能エネルギーの種類（発電）	単位	実績導入量	計画導入量	概 要 （導入時期、規模、方法等）
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

再生可能エネルギーの種類（熱利用）	単位	実績導入量	計画導入量	概 要 （導入時期、規模、方法等）
	GJ			
	GJ			
	GJ			
計	GJ			

9 事業所内で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係るその他の措置

(1) 事業所における再生可能エネルギーの環境価値の保有

種類	単位	実績導入量	計画導入量	概 要 （導入時期、規模、方法等）
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

(2) その他の取組

事項	取組概要			
テナント事業者等への還元のための措置				
廃棄物の削減		削減予定量		t
グリーン調達				
物流の効率化				
その他、社員の通勤における削減対策等				

その8

10　自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況等

(1)　自動車等に係る温室効果ガスの基準排出量

ア　基準排出量の算定方法

◉ 過去3か年度(基準年度)の平均値	
○ 特定年度の値	(　　)年度
○ その他	算定方法:(　　)

イ　基準排出量　　単位:t(二酸化炭素換算)

温室効果ガスの種類	CO_2	CH_4	N_2O	HFC	PFC	SF_6	合計
基準排出量	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!			#REF!

(2)　自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標及び措置

ア　目標年度

計画期間の最終年度	22 年度

イ　自動車等に係る削減目標

現在乗用車9台普通貨物車７台使用していますが、１８年度中に乗用車２台更新予定

ウ　自動車等に係る削減対策

対策No	対策の区分		対策の名称	対策導入率等		削減効果の見込量(t)	備考
	区分番号	区分名称		現状	目標		
	□						
	□						
	□						
	□						
	□						
	□						
	□						

エ　その他

その9

11　事業所外で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

事項		取組概要			
都内で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減見込量		t－CO_2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策				
	植林、緑化等		導入予定量		㎡
	その他				
都外で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減見込量		t－CO_2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策				
	植林、緑化等		導入予定量		㎡
	その他				
上記以外で、他の事業者、消費者等の温室効果ガスの排出の抑制に寄与する取組等					

12　事業所内で計画期間前に完了した温室効果ガスの排出の抑制に係る措置(8(2)以外のもの)

当社は、Ｈ１０年より工場統合計画を開始し当たりエネルギー関係の合理化を進めた。
①水管ボイラー２基（１６ｔｏｎ・１２ｔｏｎ）を貫流ボイラー２ｔｏｎＸ８基にし燃料をＡ重油から都市ガスに変更。
②製造設備の内仕上乾燥機は主に蒸気を使用していた。これをガス及び電気に替え上記ボイラにした。
③１０ヶ所の休憩室を１ヶ所に集合し、且エコアイスを導入。
④上記等の合理化のより１９９０年エネルギー使用量原油換算で４７６４ｋｌを２００４年には２０４５ｋｌとなり
　５７％のエネルギーを削減した。

その10

13　温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の計画状況に関する自己評価

（1）　温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の計画状況

ア　工場･事業場の設備等に係る削減対策

☑　「基本対策」をすべて計画化

☑　「目標対策」を計画化

イ　その他の削減対策

☑　「自動車等に係る削減対策」を計画化

☐　「事業所内で実施するその他の削減対策」を計画化

☐　「事業所外で実施する削減対策」を計画化

（2）　地球温暖化対策計画書の内容に関する説明

工場・事業所の設備による対策について都が指針で掲げる基本対策を検討し
実施済のものを除き計画した。
目標対策について現時点で行なえる物を計画化した。
当事業所は、開発工事の為工場・事務所等今後かなりの変化が
見られ５年計画内での対策は最小限にとどめない（建物の解体等が進む）
当社はｈ１０年より合理化を進め現時点５７％のエネルギーを削減し地球温暖化対策に寄与している。